

## 平成 25 年久留米大学附設高校同窓会総会議事録

1. 日時等：平成 25 年 7 月 7 日 15：30～16:00 ホテルニューオオタニ博多
2. 開会：司会の川口 勝久氏（24）より開会が宣言された。
3. 会長挨拶（骨子）：会長の長谷川 房生氏（13）より以下の挨拶があった。  
新校舎完成後初めての総会であり、当番幹事の 24 回生の尽力により参加者・広告ともに過去最大。高校校舎内の同窓会室も拡充し、今後さらに活発な活動が可能。その他思考廻廊・5 月に発行した会報（竣工記念号）・後援会と同窓会の交流・秋に予定されている福岡、久留米、東京での竣工記念講演会等について言及あり。月 2 回程度実施の福岡・東京の役員執行部のテレビ会議等、皆で力を合わせ「日本一の同窓会」を実現したいと締め括られた（その他総会誌の会長挨拶欄 6 頁も参照）。
4. 議長選出：副会長の小田恵介氏（19）が推薦され、拍手多数により承認された。
5. 議事：以下小田議長の議事進行のもと報告・審議が行われた。
  - ・平成 24 年度活動報告：副会長の一瀬 徹夫氏（13）より理事評議員会（平成 24 年 5 月 27 日）の議事録に沿って報告があった（詳細は総会誌 11,12 頁参照）。
  - ・平成 24 年度決算承認の件：副会長の伯川 志郎氏（15）より収支決算書に基づき説明有り。財産目録記載の預金につき、複数行への分散や財産管理（通帳・印鑑など）を実施したとの報告もなされた。本件については拍手をもって承認された。
  - ・監査報告：監事の大神 甫氏（7）より上記収支決算・関係帳簿の監査の内容は適正であった旨報告があった。
  - ・規約改正（同窓会組織の強化）：副会長の伯川 志郎氏（15）より説明あり。要点は二つ。  
①副会長の人数を 3 名から 5 名に変更し、組織強化を図ること。②終身会費につき来年 4 月の高校入学より徴求方法を変更すること（卒業時に 30000 円の一時払いから月 800 円（800 円×36 回＝28800 円）の分割払いに変更）。父兄（後援会）にも了承いただいている。本件について諮ったが特に異議無く、拍手をもって承認された。
  - ・平成 25 年度予算承認の件：副会長の伯川 志郎氏（15）より前年度決算との差異を中心に説明あり。①収入の部の大きな項目は終身会費が約 400 万円プラスされたもの。②本年度の終身会費分（約 400 万円）は、全額特別会計へ繰入れ（出し）すること。③事業費で大きな金額項目は当年度の特殊事情（竣工記念会報 250 万円、名簿 100 万円、思考廻廊 60 万円、竣工記念講演会 60 万円など計 470 万円）分と今後同窓会活動の要となる回生世話人会費（東京・福岡）72 万円であり、その結果約 500 万円の赤字予算（当期収支差額）となったもの。本件予算につき特に異議なく、拍手をもって承認された。
    - ・報告事項：冒頭の活動報告で一瀬副会長より既に概ね報告済なので割愛。
6. 閉会：川口 勝久氏（24）より閉会が宣言され、以上にて総会は終了した。

以上（文責；安部 20）